

# 議会だより

No.73  
令和5年1月

発行／北斗市議会 監修／北斗市議会運営委員会



## 「素敵な笑顔で新たな門出」

— 第1回北斗市二十歳を祝う会にて —

### 第4回定例会の概要

■こんなことが決まりました .....	1
■一般質問（7名） .....	3
■委員会活動をお知らせします .....	10
■一部事務組合・広域連合議会の動き .....	12
■議員の会議出席状況（1年間の状況） .....	13
■議会日誌・編集後記 .....	15

# こんなことが決まりました

## 第4回定例会

令和4年第4回定例会は、12月6日から12日までの7日間の会期で開催され、一般質問のほか、令和4年度各会計補正予算、条例の一部改正などについて審議しました。

### ▼補正予算

- 令和4年度北斗市一般会計補正予算（第11号）…………… 原案可決  
住民施設管理経費、街灯関係経費、新型コロナウイルス緊急対策経費、個人番号カード交付事務経費、補装具支給経費、スポーツ合宿誘致補助金などで1億7,813万6千円を追加し、総額を240億9,107万5千円としました。
- 令和4年度北斗市一般会計補正予算（第12号）…………… 原案可決  
過年度の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の精算による償還金で23万4千円追加し、総額を240億9,130万9千円としました。
- 令和4年度北斗市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）…………… 原案可決  
システムクラウド改修経費、傷病手当金で52万7千円を追加し、総額を50億7,792万7千円としました。
- 令和4年度北斗市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）…………… 原案可決  
居宅介護福祉用具給付費、介護予防サービス計画給付費などで322万6千円を追加し、総額を46億3,441万1千円としました。
- 令和4年度北斗市水道事業会計補正予算（第5号）…………… 原案可決  
損害賠償に関し、収益的支出の営業外費用で108万4千円を追加し、総額を7億1,579万4千円としました。また、収益的収入の営業外収益で保険収入68万9千円を追加し、総額を9億259万8千円としました。

### ▼条 例

- 北斗市職員の定年等に関する条例等の一部改正等…………… 原案可決  
地方公務員法の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、北斗市職員の定年を60歳から65歳へ引き上げるなど所要の改正、または廃止するための一部改正です。
- 北斗市手数料徴収条例の一部改正…………… 原案可決  
都市の低炭素化の促進に関する法律施行規則等の改正に伴い、低炭素建築物新築等計画の認定等の事務に係る手数料の規定などについて、準拠している北海道建設部手数料条例の改正に併せ、所要の改正をするための一部改正です。
- 北斗市営住宅条例の一部改正…………… 原案可決  
カーボンニュートラルの実現に向けて、公営住宅の省エネ化及び再生可能エネルギーの導入を図るため、新しく建設する公営住宅等への太陽光発電設備を原則設置するなど、国の定める公営住宅等整備基準の改正に併せ、所要の改正をするための一部改正です。

### ▼そ の 他

- 損害賠償額の決定…………… 原案可決  
水道施設の管理瑕疵による車両事故について、法律上の市の義務に属する損害賠償額を定めるもの。

### ▼動 議

- LED照明事業を調査するための地方自治法第100条第1項（及び同法第98条第1項）の権限を付与された特別委員会の設置…………… 否 決
- LED照明設備整備を調査する特別委員会の設置…………… 否 決



## 第4回臨時会

令和4年第4回臨時会は、10月24日に開催され、令和4年度各会計補正予算について審議しました。

### ▼補正予算

- ・ **令和4年度北斗市一般会計補正予算（第9号）** …………… **原案可決**  
新型コロナウイルス緊急対策経費の冬季生活臨時支援金、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金支給事業経費の給付金などの追加で5億5,508万7千円を追加し、総額を239億1,278万9千円としました。
- ・ **令和4年度北斗市水道事業会計補正予算（第3号）** …………… **原案可決**  
収益的収入の営業収益で8,427万4千円を減額し、営業外収益で8,427万4千円を増額し、総額を9億190万9千円としました。
- ・ **令和4年度北斗市下水道事業会計補正予算（第2号）** …………… **原案可決**  
収益的収入の営業収益で1,004万9千円を減額し、営業外収益で1,145万4千円を増額し、総額を11億7,361万円としました。また、収益的支出では料金システム改修費として営業費用で140万5千円を増額し、総額を11億2,442万2千円としました。

## 第5回臨時会

令和4年第5回臨時会は、11月28日に開催され、令和4年度各会計補正予算、条例の一部改正について審議しました。

### ▼補正予算

- ・ **令和4年度北斗市一般会計補正予算（第10号）** …………… **原案可決**  
給与改定に伴い、職員給与費などで15万円を追加し、総額を239億1,293万9千円としました。
- ・ **令和4年度北斗市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）** …………… **原案可決**  
保険税収納率向上特別対策経費として給与改定及び共済費負担率等の改定で1万4千円を追加し、総額を50億7,740万円としました。
- ・ **令和4年度北斗市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）** …………… **原案可決**  
介護給付等費用適正化事業経費として給与改定及び社会保険等保険料率の改定で1万8千円を追加し、総額を46億3,118万5千円としました。
- ・ **令和4年度北斗市水道事業会計補正予算（第4号）** …………… **原案可決**  
給与改定などに伴い、収益的支出の営業費用で20万9千円を増額し、総額を7億1,471万円としました。
- ・ **令和4年度北斗市下水道事業会計補正予算（第3号）** …………… **原案可決**  
給与改定及び会計間の人事異動などにより、収益的支出の営業費用で61万円を減額し、総額を11億2,381万2千円としました。

### ▼条 例

- ・ **北斗市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正** …………… **原案可決**  
人事院勧告に伴う一般職における期末手当の支給月数の増減に併せて、0.1月分引き上げるための一部改正です。
- ・ **北斗市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正** …………… **原案可決**  
人事院勧告に伴う一般職における期末手当の支給月数の増減に併せて、0.1月分引き上げるための一部改正です。
- ・ **北斗市職員の給与に関する条例の一部改正** …………… **原案可決**  
人事院勧告に基づき、民間給与との格差を是正するため、勤勉手当の支給月数を0.1月分引き上げるためなどの一部改正です。





水上 務 議員



録画映像

質問1

上磯高校に福祉科設置の運動を道教委に働き掛けるべき

教育長

道内の福祉学科がある2校の入学者が減少、維持が厳しい

道立上磯高校は現在、普通科の1間口です。

そこで、新たに福祉科を設置する運動を道教育委員会に働き掛けるべきと考えますが、お伺いします。

答(教育長) 上磯高校については、今年で創立70周年を迎える伝統ある学校です。

ピーク時の昭和55年度には、普通科5間口、生活文化科1間口、合わせて6間口と、渡島管内においても、中堅規模の学校でしたが、その後は、少子化の影響から年々入学者数が減少し、現在は普通科1間口という規模です。

一方、平成29年度に、同校に北斗高等支援学校が併設されたことから、現在は特に、高等支援学校や地域との連携に力を入れており、共生社会の一員として他者と協働できる生徒の育成にも取り組まれています。

ご質問にあります、上磯高校への福祉科の設置については、現在、道内に福祉学科を有する学校は、道立置戸高校と私



創立70周年を迎える道立上磯高校

立函館大妻高校の2校があり、現在、両校ともに入学者が減少し、その維持が厳しいものとなっていると伺っており、理由の一つは、初めから福祉関係を志望する生徒は少なく、普通科の高校を卒業した上で、福祉関係の専門学校に進学し、資格を取得する生徒が多い傾向にあるためではないかとのことです。

現在、上磯高校としては、多様な進路に対応できる生徒の育成を主体に考え、現行の普通科1間口の確保に尽力するとともに、最大の強みである北斗高等支援学校との連携を生かし、選択科目として福祉を学べる体制を整えるなど、進路の選択肢を拡げる取り組みも検討しているところです。

市や教育委員会としては、今後も上磯高校のインターンシップの受け入れや市

内小・中学校との情報交流の場の設定など、できる限りの支援を行い、市内の多くの子どもたちが、上磯高校への進学を希望するような魅力ある学校づくりに協力してまいりたい。

質問2

新築・リフォーム後に住居番号表示板を設置すべきでは

市長

市民等へ表示する利点を説明して協力を促してまいりたい

問 近年、市内の住宅の新築及びリフォームをすると、ほとんど住居番号表示板がありません。

市として住居番号表示板を設置すべきと思いますが、その考えについてお伺いします。

答(市長) 住居表示については、「住居表示に関する法律」に基づき実施される、地番を基にした住所の表示に代わる、一定の方式により順序よく付けた番号を基にした住所の表示方法ですが、本市においても、上磯地区では昭和54年度、大野地区では平成20年度からそれぞれ開始しています。

また、住居表示にとって重要である、住居番号表示板の設置については、「住居表示に関する法律」及び「北斗市住居表示に関する条例」に基づき、建物所有者や占有者が見やすい場所に表示することにより、消防や警察による緊急時対応の迅速化、郵便物など宅配業務の誤配や

遅配の減少、訪問時の利便性向上などが図られることを目的としています。

本市においては、住宅を新築又はリフォームした際や、住居番号表示板が劣化してきた場合に、申請により、住居番号表示板を無償発行しており、その際、表示箇所や再発行に関する周知文書を一緒に配布しています。

しかしながら、ご指摘のとおり、最近では住居番号表示板の見当たらない住宅が多く見られます。

市としても、その状況は認識しており、住居番号表示板の設置目的や無償で再発行が可能であることなどについて、市民への周知に努めていく必要があると考えています。

今後は、ホームページや広報、町会連合会の会議などを活用し、周知を強化するとともに、窓口にて住居番号表示板を住宅所有者やハウスメーカーなどに渡す際、今以上に住居番号表示板を住宅の見えやすい場所に表示する利点を説明し、市民の協力を促してまいりたい。



住居番号表示板を設置している住宅

## 一般質問



工藤 秀子 議員



録画映像

**質問1** 二次元コードシール配布事業の今後の活用方法は

**市長** 地域で認知症高齢者を見守る仕組みの一つとして普及する

**問** 北斗市では、今年度から新規で高齢者見守り確認事業の中で、高齢者見守り確認機器購入費補助金及び二次元コードシールの配布事業を始めました。

事業の利用状況及び今後の活用方法をお知らせください。

**答(市長)** この事業は、高齢者及び認知症の方が住み慣れた地域で安心して暮らしていることを目的で取り組んでおり、利用状況は、11月末現在で「高齢者見守り確認機器の購入に対する助成」の件数は0件、「認知症高齢者等の見守り二次元コードシールの配布」の件数は7件となっております。

今後の活用方法としては、本事業を通して、認知症に関する正しい認識と理解の向上を図り、地域における認知症高齢者を見守る仕組みの一つとして、その普及啓発に活用してまいります。

まずは、ホームページや広報紙などを活用して、積極的に事業の周知を図るとともに、定期的に見守り声掛け訓練等を

開催し、多くの市民に参加していただくことで、高齢者を地域で見守る仕組みを知ってもらうことが必要と考えています。

**問** まちで二次元コードシールを貼付した方が様子に気になる場合の対処方法を市民へ周知したほうが良いと思うがいかか。

**答(保健福祉課長)** シールを貼付し様子が気になる場合でも、まずは、声掛けをすることが一番の対処方法だと思いますので、今後は、市民へ何度も認知症高齢者への見守り声掛け訓練等を実施しなければならぬと考えています。



認知症高齢者等の見守り二次元コードシール

**質問2** 今後の芸術文化活動の振興の方向性は

**教育長** 市民主体の活動を市としても後押しすることで振興を図る

**問** 北斗市は、第2次総合計画令和4年度実施計画の中で、芸術文化行事開催度実施計画の中で、芸術文化行事開催度実施計画ひらばや音楽祭を通して、「音楽のまち・ほくと」の市民意識の醸成を図るとともに、かなでくるを拠点とし、吹

奏楽や合唱のみならず幅広いジャンルの音楽振興事業を検討するとあります。

吹奏楽や太鼓、合唱などは、文化祭や音楽祭、また、いろいろなイベントにも参加し、演奏で地域を盛り上げています。ただ、一部の市民の中にはこの「音楽のまち・ほくと」の活動ばかりに力を入れてはいないか、その他の歴史文化などの活動にも力を入れてはどうかとの話がありました。

今後の芸術文化活動の振興の方向性をお知らせください。

**答(教育長)** 本市では、シテイプロモーションを市民総ぐるみで展開しており、特に、市内において活動が盛んな、音楽に関する取り組みは、「音楽のまち・ほくと」と銘を打ち、全国大会において、連続金賞を受賞する上磯中学校吹奏楽部のドキュメンタリー番組制作や、北斗市出身の奏者の方にイベントで演奏してもらうなど、様々な機会を活用し、音楽を通して北斗市をPRしてきました。

一方、音楽以外の芸術文化活動については、かなでくる協会や文化団体協議会と連携し、演劇公演の開催や市民文化祭の実施など、芸術文化活動を発表する様々な場を設け、鑑賞機会の確保にも努めてきたところです。

今後の芸術文化活動の振興の方向性については、引き続き、多くの方々

の芸術文化活動に触れる機会を確保し、この活動を支える人材の育成やサポートに努めるとともに、これらの活動について、理解を深めていただけるよう、積極的に広報誌やホームページなどを活用した情報発信を図ってまいります。

また、市民の皆さまが主体となって行っている芸術文化活動も広がりを見せつつありますので、市としてもその活動を後押しすることで、芸術文化活動の振興を図ってまいります。

**問** 北斗市は、郷土資料館もあり歴史文化として史跡や縄文時代の史料もあるのが高齢者大学のカリキュラムで学芸員などを招いて勉強することは可能なのか。

**答(社会教育課長)** 高齢者大学では1コマ必ず歴史に関する講座を行っています。市民の中で北斗市歴史研究会が発足し、小学校や高齢者大学の講師をすることも活動内容で考えているようですので、今後、連携して進めてまいります。



北斗市指定無形民俗文化財「大野ぎおんばやし」





一 板木 正則 議員



録画映像

**質問 1** 市としての防災・減災に向けた今後の取り組みの予定は

**市長** 防災ラジオの配布や防災ハンドブックの改訂などを進める

**問** 近年の気象状況の変化により、自然災害に発展しかねない天候が、当市においても毎年のように見られるようになっていきます。

市として、防災・減災に向けた今後の取り組みや予定をお知らせください。

**答(市長)** 本市では、災害等緊急時の情報伝達の多重化を図るため、防災ラジオの導入を予定しており、現在、配布に関する基本的な考え方や導入後の運用方針等の検討を行い、今後、防災連絡会議の意見も伺いながら、準備を進めてまいります。

また、防災ハンドブックについても、新たに公表された津波浸水想定区域などを踏まえ修正を行い、市民の皆さまにとって身近で分かりやすく、実行性の高い防災ハンドブックとなるよう改訂作業を進めてまいります。

北斗消防団清川分団詰所は、防災備蓄倉庫としての機能も兼ね備えた拠点施設として、先月完成したところで災害発生

時における消防団との連携強化を図り、機動性が高まるよう運用してまいります。

**問** 避難所用間仕切りテント「ひなんルームなごみ」の現在の保有数と今後の購入計画をお知らせください。

また、このテントの運用方法も併せてお知らせください。

**答(総務課長)** 「ひなんルームなごみ」は、5年間で計画上500張りとなっていて、現在、整備・配置されているのは100張りです。計画の20%が配置済みとなっています。テントの運用については、今後の北斗地域防災計画をはじめとする各種防災計画の見直しの中で十分に検証してまいります。

**問** 津波避難ビルなど拠点施設には、常時、必要最小限の防災備蓄品を用意しておくべきと考えますが、市の考えをお聞かせください。

**答(総務課長)** 北斗市において指定している津波避難ビルの中で、高規格道路の外側(浸水区域外)については、今後、冬場の避難にも対応できるように進めていきますが、現在は、防災備蓄品は備蓄していません。

津波避難ビルのようなところも災害の状況により浸水することや季節により、様々なことが想定されます。

そういった様々な状況でどのような物を備蓄しておくべきかというのは、十分

に考えていかなければなりません。最低限、命を守るために必要なものについては今後、考えてまいります。

**問** 北斗消防団清川分団詰所に防災備蓄倉庫を併設されたが、現在の追分の備蓄倉庫とどのように運用していくのかお知らせください。

また、分散備蓄に対してどのように考えているかお知らせください。

**答(総務課長)** 追分の備蓄倉庫は新たな浸水想定では津波浸水想定区域に入っていますので、同場所での備蓄は望ましくはなく清川分団詰所併設の防災備蓄倉庫に備蓄品の大半を移す予定です。

分散備蓄については、リスクの分散という観点で必要なことであるかと思いますが、現状は管理・点検の観点、また消防団との連携強化などを図れるといったことも可能となることから、全体として清川分団詰所に置くことを考えています。

**質問 2** グランポレール北海道北斗ヴィンヤードの今後の展望は

**市長** 本社ハワイナリーやレストラン等の建設をお願いしている

**問** 文月・向野地区のワイン関連施設については、醸造所や農泊施設などに国の補助金の採択もあり、一定の見通しが立ったかと思いますが、三ツ石地区にある、グランポレール北海道北斗ヴィンヤード周辺も、当市にとって非常に魅力的な地

域となる可能性を持っていると考えます。今後、メーカーとのつながりをより一層強めていく必要があると考えますが、ヴィンヤード開設からの変化や展望などがありましたらお知らせください。

**答(市長)** 今年7月には、メーカーとのつながりをより強めていく必要があると考え、東京の本社を訪問し、三ツ石地区へのワイナリーやレストランなどの建設についてお願いをしてきたところで、本市の経済発展につながることも、観光面においても、トラピスト修道院との相乗効果により、三ツ石地区の魅力がさらに増し、交流人口の増加にもつながることから、今後も可能な限りトップセーラーズを続けてまいります。



グランポレール北海道北斗ヴィンヤードからの眺望



佐々木 亮 議員



録画映像

**質 問** 少子高齢化や人口減少社会に  
対する今後の施策は

**市 長** 関係人口や交流人口の拡大を  
図り、移住定住促進に努める

**問** 本市でも、平成17年をピークに人口減が進み、令和4年度市政執行方針の主要施策の1番目にも「人口減少問題への取り組み」が掲げられています。

私は過去の一般質問において、少子高齢化や人口減少社会に起因する現在の課題、今後予想される課題、対応策等に関して質問をしてきた経緯がありますが、昨今の社会情勢や北斗市の実情を鑑み、今後どのような施策を行っていくかと考えているのかについて質問します。

(1)本市の総人口、老年人口(65歳以上)、生産年齢人口(15〜64歳)、年少人口(0〜14歳)の直近5年間推移と移住定住施策の課題について

(2)地域包括ケアシステムや地域共生社会構築に向けて、現在、市や社会福祉協議会が直面している課題について

(3)郷土愛を育むために、学校現場での防災教育や食育が重要だと思いが、市は今後の課題についてどう考えているのか。ア 過去3カ年実績をお知らせください。

**答(市長)** (1)令和2年は、総人口4万4千302人、そのうち老年人口1万3千332人、生産年齢人口2万5千434人、年少人口が5千444人であり、5年間の推移としては、総人口が2千88人の減、老年人口は1千35人の増、生産年齢人口は2千289人の減、年少人口は909人の減となっています。

本市の社会動態の特徴として、進学や就職による20歳前後の若年層の転出が特に多く、これに伴う市内事業所の人材不足などが課題で、若年層の回帰につながる施策として、奨学金の償還免除や償還支援を昨年度から実施しています。

移住・定住促進のため、雇用の場の創出、空き家バンク制度活用による住居確保への支援などの継続が必要と考えます。施策については、短期的に効果が得られるものではなく、随時、事業を検証し、必要に応じて見直し、粘り強く取り組んでいかなければならないと考えます。

本市の魅力効果を効果的に発信し、関係人口の創出や交流人口の拡大を図りながら、移住・定住の促進に努めてまいります。

(2)これらの制度の認知度が低い点や、低所得者や引きこもり等の自助をどこまで期待できるのかという点、人付き合いが希薄化する中、地域社会の力を活用するという理想がどこまで現実味を帯びるかという点など、様々な課題があります。課題解決のため、地域を基盤とする包

括的支援の強化が必要であり、市は、地域福祉の理解を図る「生活支援コーディネート」によるワークショップの開催、高齢者の総合相談窓口としての地域包括支援センター「かけはし」や、生活困窮者や生活に不安や悩みがある方を対象とした「生活相談支援センター」を設置し、いずれも社会福祉協議会に委託し、運営を担っていただいています。

また、現在策定作業中の「第3期地域福祉計画」では、包括的な支援体制を構築するため、重層的支援体制の整備等の視点を計画全体に反映し、施策の展開を図ってまいります。

**答(教育長)** (3)小・中学校で行われた火災を想定した防災訓練は、令和元年度が14校、令和2年度が11校、令和3年度が14校です。

地震・津波を想定した避難訓練は、令和元年度が15校、令和2年度が11校、令和3年度が12校、1日防災学校は、令和元年度、及び令和2年度が3校、令和3年度が9校です。

栄養教諭による食育授業は、令和元年度は市内全小・中学校16校で143回、同様に、令和2年度は138回、令和3年度は132回行っています。

また、トマトの収穫体験や田植え・稲刈り、サケの稚魚放流、アサリ採り体験など、自然体験学習を通じての食育につ

いても、学校規模に応じ、積極的に進めていきたいと考えますが、反面、大規模校の受け入れ先の問題もあり、教育の公平性の観点から、検討すべき課題があるものと認識しています。



萩野小学校の児童による田植え体験の様子

**問** 地域共生社会構築には、課題を知ってもらうことと横のつながりが重要ですが、本市においても地域ケア会議がありま

すが、もっとオープンな場で、医療や介護に携わる方だけではなく、市民や学校関係も交えて、みんなが共通認識できる場をつくるのが効果的と考えますが。

**答(民生部長)** 社会福祉協議会、地域包括支援センターなどが、今年度、地域福祉計画をつくり社会福祉協議会の実践計画も踏まえて、横のつながりに対応できるようなネットワークを検討してまいります。





渡野辺秀雄 議員



録画映像

**質問** 北斗フィッシュヤリーを今後どのように活用していくのか

**市長** 漁協と話し合い、観光も含め総合的に考えてまいりたい

**問** 北斗市における観光振興に関して、新型コロナウイルス感染症の終息がまだ見えない中、国や道府県の自粛規制が解かれ、また、全国旅行支援などの影響なのか、修学旅行や家族単位の観光客がこの頃、目立って増えてきています。

一部観光地では、コロナ終息後を見据えてホテルの改装や新築をしているところもあるようです。

最近、新聞を開くと、七飯町の「道の駅なないろ・ななえ」が全道道の駅ランキング1位とか、函館市ではトラウトサーモン「サーモン」として旅行客にアピールして観光振興につなげるなどといった話題が紙面を飾っています。

北斗市も6年前の新幹線開業時には、マスコミに取り上げられ、連日、テレビカメラや芸能人が来て大変盛り上がったのですが、3カ月もすると火が消えるように収まりました。

観光振興の推進は、地域産業の発展や

交流人口が増えることによって、企業の誘致にもつながっていくものと考えます。また、そのことにより、移住・定住人口が増えれば北斗市の活性化の大きな力になるものと思います。

10年後、20年後を見据えた観光振興に対する市長の考えをお聞かせください。

**答（市長）** 本市では、平成28年3月の北海道新幹線開業を見据え、平成24年度を「観光振興元年」と位置付け、桜回廊事業の促進や体験型観光の振興など5つの観光施策を柱として取り組んできました。

観光入り込み者数は、北海道新幹線の実質的な開業年度である平成28年度に124万人を数えましたが、開業効果の落ち着きやコロナ禍の影響により、令和3年度には52万人にまで減少しています。

このような状況の中、市では、観光施策の主な柱のうち、「体験型観光の振興」への取り組みを強化する必要があるとして、令和2年度から「着地型観光担い手づくり事業」を展開し、観光関連事業者と連携し、市内での体験可能なプログラムを増やし、観光関連事業者が継続的に実施できる事業を目指しています。

これまでも市や市観光協会では、体験観光事業に取り組んでおり、地引き網体験やトマト収穫体験など、20を超える事業を実施してきたところですが、観光関連事業者との連携が弱かったことなどが

ら、持続的な事業展開ができなかった経緯があり、これらの反省を踏まえ、「着地型観光担い手づくり事業」では、観光関連事業者との連携を密にし、事業開始から3年度目となる今年の秋には、モニターツアーが複数実施されました。

市内には、数多くの観光資源があり、今後整備が予定されている、文月・向野地区のワイナリーなど、新たな観光資源も含め、それらを生かすため、多様な関連事業者との連携を強化し、地域の方々が価値を見いだすような資源の磨き上げを図ることも重要であると考えています。

新函館北斗駅は、道南観光の要所であり、市観光協会が主体となり、観光関連事業者との連携を深め、来訪者のニーズや価値観に着目し、多くのリピーターやファンが来訪していただけるよう、市としても、引き続き連携を密にし、観光振興の後押しをしてまいります。

また、8年後の2030年度には北海道新幹線が札幌まで延伸される予定であり、延伸後は本市が道央圏域と東北圏域の中間駅となることから、これらの特性を最大限に生かした取り組みとして、来訪者を増やすため「豊かで美しい自然環境」や「食」のPRのほか、現在取り組んでいる「体験観光」の充実により、年間90万人の観光入込者数を達成すべく、取り組みを加速する次第です。

**問** 観光振興には、「食」を目的に来る観光客は多く、1次産業との連携は欠かせませんが、北斗市には、農産物のキュウリやトマト、海産物もカキやホッキなどがあります。

その海産物を提供する「貝焼焼北斗フィッシュヤリー」が、現在、休業していますが、今後の活用をどのように考えているのか教えていただきたい。

**答（市長）** 市としても北斗フィッシュヤリーには補助金等も出しておりますので、何とか生かして欲しいと所有者である上磯郡漁業協同組合には話しています。

そのような中で商工会と連携した再営業に向けての計画もありますが、漁協から返事をいただいております。今後については、漁協と話し合いをし、観光も含めて総合的に考えてまいりたい。



休業が続いている 貝焼焼北斗フィッシュヤリー



高村

智 議員



録画映像

**質 問** 契約事業者の紹介者といつかの付き合いか

**市 長** 道南いさりび鉄道の元社長とは市長就任後からの付き合い

**問** 公共施設のLED化に関して、3月

議会当初の答弁から議会を重ねることに微妙に言葉巧みに修正されていますが、この質問をしていなければ交換していい箇所や、見積もりに積算すらしていない状況を見逃していたことを考えると、根本的にこの契約に向かっている背景が、様々な矛盾を生んでいるのではないかと、と言わざるを得ません。

## 一 般 質 問

そこで締めくくりの質問をします。

(1) 決算審査特別委員会の副市長の答弁で、イーシームズを知り得たきっかけは、業務上の関係のお付き合いのある方と意見交換をした際、「知っている事業者がいますので聞いてみませんか」からのスタートでした。

この、業務上の関係の方は、市長、副市長、総務部長それぞれいつからのお付き合いかお知らせください。

(2) この方とは2019年から今まで、市長、副市長、総務部長は市役所で何回会って、それぞれ会った日付はいつなの

お知らせください。

(3) この方にイーシームズを紹介された後、イーシームズと初めてコンタクトを取ったのは誰で、いつなのか。

この方はイーシームズに関係性があるかどうかお知らせください。

(4) 浜分小学校を含めて3施設でずさんなチェックにより、一年半不具合を見つけれませんでした。

ここまでの不作為と言える状況は通常、職員が行っていたら、何らかの処分が下されるような案件です。

しかし、今のところ副市長が議会で謝罪しましたが、それだけにとどまり、市長からは行政のトップとして反省や謝罪の言葉すらありません。

副市長の主導で現総務部長が先頭に立って動いたことや、高額な随意契約が見積もり合わせなしで行われたことに対して処分がなければ、規則を重んじる職員は上司についていこうと思えず、士気の低下につながってしまいます。

処分しない、謝罪しない、反省しない明確な理由をお知らせください。

(5) 工事終了後のずさんなチェックがあったので改めて見積もり内容を確認します。

決算審査特別委員会で証拠書類等の閲覧をさせていただき、市民からの情報開示請求での資料と比較し、同じ内容のものであったと確認しました。

北海道新聞の記事では、部長からの報告で浜分小学校は1千337カ所の蛍光灯をLED化との記載がありました。私の計算では1千333カ所でした。

4カ所違いますが1千337カ所で間違いないのかお知らせください。

(6) 今後、すべての公共施設のLED化はいつまで完了しようと考えているのかお知らせください。

**答(市長)** (1) 本年の決算審査特別委員会

において、副市長より説明した関係のある方についてですが、道南いさりび鉄道株式会社代表取締役社長を令和2年6月まで勤められていた小上氏であり、同氏を介して、契約事業者のリース方式について、今回のパートナー事業者から概要をお聞きしたものです。

小上氏との業務上のつながりについては、私は市長就任後から、副市長は総務部長当時から、道南いさりび鉄道株式会社に關する沿線自治体としての関わりがあります。

なお、総務部長は、直接の関わりはありません。

(2) 期間中における面談回数は、私は、令和元年度は1回、令和3年度は2回、他の年度はお会いしていません。

副市長は、令和元年度が9回、令和2年度が4回、令和3年度が4回、令和4年度はお会いしていません。

なお、総務部長はお会いしたことがありません。

(3) 契約事業者より、事前に連絡を受けた上で、令和元年12月5日に副市長及び総務部長が試算内容等の説明を受けています。

また、小上氏と契約事業者とは、直接の関係は無いものと理解しています。

(4) 本事業の監督を担う副市長より陳謝したところです。

処分については、今後、これまでの様々な指摘などを踏まえ、検討してまいります。

(5) 浜分小学校のLED化の箇所数についてですが、新聞報道のとおり、1千337カ所間違いありません。

(6) 大規模公共施設及び水銀灯設置の公共施設のLED化について、令和7年度をめどとし、その後、小規模公共施設について、順次LED化を実施する考えです。



浜分小学校玄関前の照明器具





新関 一夫 議員



録画映像

質 問	法令に適合した随契理由がなく違法随契した責任について
市 長	違法な随意契約をしたとの認識はありません

**問** LED照明設備に関する件に関しては、3月の第1回定例会から、様々な質問をしてきました。

11月13日付け北海道新聞の第3面(全道版)に「北斗市 不透明な随契」の見出しで記事が大きく掲載されました。

複数の市民より「市と議会は何をやっているんだ!」とのお叱りと疑問の電話をいただきました。

北斗市の名誉と信用を、大きく毀損したこの記事内容に関し、市長及び監査委員はどう考えているのかを伺います。

また、以下の点について伺います。

(1) 法的問題と責任について  
再三質問していますが、市が「一者特命随契」をできるとして挙げている地方自治法施行令第167条の2第1項第2号及び第7号について、これまでの質疑応答を踏まえてお聞きします。

ア 第2号「その性質又は目的が競争入札に適しないもの:」について伺います。  
工藤副市長は議会において、このシス

テム(リース事業・地元の電気工事業者で施工・リース期間中のメンテナンス)ができるのは「自分の思い込みで1社(E社)しかできない」と思い込んでいた。」と答えています。

「思い込み」か「恣意的」か、どちらにしてもこの時点で「適法でない」ことは明らかです。

このことの認識と責任を伺います。

イ 上記施行令第7号「時価に比して著しく有利な価格:」に関し、改めてお聞きしますが、「時価」とはどのような意味であるのか、お聞きします。

私は「時価」とは、「市場価格」と同義語と理解していますが、市は特別な解釈をしているのか。

市長及び監査委員の考えをお聞きします。

ウ 法令に適合した随契理由がないことを踏まえ、「違法な随契」をしたことと責任についてお聞きします。

(2) 市は事前にLED灯火の数は押さえていたと思いますが、契約した5つの施設それぞれの灯火の数をお知らせください。

また、数の根拠をお知らせください。併せて、E社の見積もりにある、灯火の数もお知らせください。

**答(市長)** 本件に関しては、本事業の目的、及び契約締結に至った経緯、趣旨について、これまで説明をさせていただ

たとおりですが、監査結果でのご指摘、一般会計決算認定に対する付帯決議等を真摯に受け止め、今後の円滑な市政運営に努めてまいります。

(1) ア及びイの地方自治法施行令第167条の2第1項第2号、及び第7号については、

本事業の実施を検討するに当たり、過去の情報などから、大手リース事業者の場合、この事業者が直接施工することも想定されたことから、より本市の意向が達成されるであろうと考えられる本事業の契約事業者と、随意契約としたものです。

本事業における、試験施工の予算化に向けた検討段階においては、第7号の規定である「時価に比して著しく有利な価格」の適用を想定していましたが、その後、検討を重ねた結果、第2号の規定である「契約の性質又は目的が競争入札に適しない」の規定を主に適用し、第7号の規定は参考として補足したものであることから、「適法ではない」との考えはなく、質問のウにある「違法な随意契約」をしたとの認識もありません。

なお、「時価」の解釈につきましては、「時価」の判断基準は明確にできるものではなく、その品質や労働環境等を適切に確保した上で判断すべきものと考えています。

(2) スポーツセンターが195灯、市民プールが277灯、浜分小学校が1千337灯、上磯中

学校が2千40灯、大野中学校が1千426灯です。

それぞれの灯数の根拠については、契約事業者より、それぞれの施設におけるLED照明器具の設置場所や設置器具、灯数などの一覧が示されています。

なお、契約事業者の見積もりにある灯数について、包括的な費用に基づく年間リース額とLED化による電気料金を含む維持管理経費の削減効果額を比較検討したものであり、見積もり段階での灯数は把握していません。

**答(代表監査委員)** 11月13日付けの新聞報道記事については、ご質問にあるような、北斗市の名誉と信用を大きく毀損したとは思っていませんが、市として、説明すべきものは、説明が必要であるのではないかと考えています。

(1) ア及びイの地方自治法施行令第167条の2第1項第2号、及び第7号については、市の裁量の幅は広く、随意契約としたことについて、「適法ではない」とは考えていません。



LED照明の北斗市スポーツセンター

## 一般質問

## 委員会活動をお知らせします

### 《総務常任委員会》

- ・12月8日に第4回定例会で付託された、条例の一部改正（1件）の審査を行い、『北斗市職員の定年等に関する条例等の一部改正等』については、質疑はなく、採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定し、本会議で報告を行いました。

### 《産業建設常任委員会》

- ・12月9日に第4回定例会で付託された、条例の一部改正（2件）の審査を行い、『北斗市手数料徴収条例の一部改正』については、改正する趣旨及び具体的な内容、別表内にある複合建築物とは何かなどの質疑応答を行いました。また、『北斗市営住宅条例の一部改正』については、質疑はなく、採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定し、本会議で報告を行いました。



### 《議会運営委員会》

- ・10月14日に委員会を開催し、第4回臨時会の議会運営（会期日程等）に関する協議を行い、会期を10月24日の1日としました。
- ・10月24日に委員会を開催し、議会だより（No.72）の監修、「議会だよりの見直し」について協議を行いました。
- ・11月21日に委員会を開催し、第5回臨時会の議会運営（会期日程等）に関する協議を行い、会期を11月28日の1日としました。
- ・11月28日に委員会を開催し、第4回定例会の議会運営（会期日程等）に関する協議を行い、会期を12月6日から12月12日までの7日間としました。その後、「議会だよりの見直し」について協議を行いました。
- ・12月6日に委員会を開催し、第4回定例会の議会運営（追加議件）について協議を行いました。
- ・12月7日に委員会を開催し、第4回定例会の議会運営に関する協議を行いました。
- ・12月12日に委員会を開催し、第4回定例会の議会運営に関する協議を行いました。

### 《北海道新幹線トンネル工事に伴う掘削発生土に関する調査特別委員会》

- ・12月12日に委員会を開催し、副市長、担当部課長の出席、鉄道・運輸機構の副局長、工事部長、工事課長、所長及び副所長を参考人として招致し、①村山受入地の状況について②八雲町への対策土搬出について③柳沢仮置場の再拡張について④北斗市内トンネル発生土処理の今後の見通しについて⑤明かり工事（市渡高架橋）発生土の村山受入地への受入れについて、鉄道・運輸機構から説明を受けました。

これに対し、セレン濃度の高い数値は滞水が原因と言いつけているが理論的根拠も失われているのではないかと、セレンの濃度が2カ所の観測孔で環境基準を超えていることについて現状の対策をいつ改善するのか、新しい受入地に関し候補地を最初に検討するのは機構なのか市なのかなどの質疑応答を行いました。



渡島トンネル入口（施工完了）  
【提供：JR TT 鉄道・運輸機構】

#### 【お詫びと訂正】北斗市議会だより令和4年11月号掲載記事の訂正について

北斗市議会だより11月号の11ページ「北海道新幹線トンネル工事に伴う掘削発生土に関する調査特別委員会」の掲載内容に一部誤りがございました。

正しくは下記のとおりです。お詫びして訂正いたします。

（誤）八雲町から柳沢の仮置き場に搬入した対策土 → （正）八雲町から村山地区受入地に搬入した対策土



## その他の会議など（市議会）

### ■ 全員協議会

- ・12月7日、北斗市役所で開かれ、閉会中における正副議長の公務活動、一部事務組合議会・広域連合議会の概要及び議員視察研修について報告されました。

### □ 北海道市議会議長会道南支部議員研修会

- ・10月12日、登別市で開催され、16名の議員が参加しました。（写真右：研修会のようす）



## 一部事務組合・広域連合議会の動き

### ■ 南渡島消防事務組合議会

- ・11月29日、令和4年第3回定例会が南渡島消防事務組合消防本部で開かれ、令和4年度一般会計補正予算、条例の一部改正（1件）が審議され、可決されました。

### ■ 函館湾流域下水道事務組合議会

- ・11月21日、令和4年第2回定例会が函館市役所で開かれ、議席の指定、令和4年度一般会計補正予算、条例の一部改正（2件）、令和3年度一般会計決算認定、報告（2件）が審議され、可決・認定等されました。

### ■ 函館圏公立大学広域連合議会

- ・11月21日、令和4年第2回定例会が函館市役所で開かれ、議席の指定、令和4年度一般会計補正予算、条例の一部改正（2件）、令和3年度一般会計決算認定、報告（3件）が審議され、可決・認定等されました。

### ■ 渡島廃棄物処理広域連合議会

- ・10月25日、令和4年第2回定例会が渡島廃棄物処理広域連合で開かれ、副広域連合長選任同意（1件）、令和4年度一般会計補正予算、令和3年度一般会計決算認定が審議され、可決・認定等されました。

## 「議会だより」のアプリ配信ご利用ください！

議会だよりは、配信アプリ「マチイロ」でも見ることができます。  
発行日にはプッシュ通知でお知らせするので、手軽にすぐに議会だよりを読むことができます。

### ご利用方法

利用するには、お手持ちのスマートフォンやタブレットに「マチイロ」のアプリをインストールしていただき、「北斗市議会だより」を登録してください。  
下記QRコードから、ご利用の端末にあわせてアプリをインストールしてください。

### アプリダウンロードサイト

Android OS	iOS
	

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの  
商標登録です。



## 萩野小学校の皆さんが議場を見学しました！

10月26日に萩野小学校6年生の児童19名が社会科学習で議場見学に訪れました。普段は入ることのできない議場で、「議会の役割や仕事」、「議会の会議の流れ」、「事務局職員の仕事」などについて職員から説明を受けました。実際に議員や説明員の席に座り、議場の雰囲気を感じていました。



議席にて職員からの説明を受けたあと、議長席を囲んで記念撮影する萩野小学校の子どもたち

令和4年10月23日、北斗市森林・林業・林産業活性化議員連盟が、きじひき高原にエゾヤマザクラ2本を植樹しました。



## 他の市議会等からの行政視察状況

- ◇10月26日 三重県松阪市議会（会 派） ・ ワーケーションについて
- ◇ 27日 長野県小諸市議会（会 派） ・ 交流人口の拡大と移住・定住の促進についてほか
- 茨城県土浦市議会（委員会） ・ 北海道新幹線の新函館北斗駅開業の効果について
- ◇11月09日 兵庫県赤穂市議会（会 派） ・ 移住・定住支援についてほか



## 令和4年1月～令和4年12月 定例会・臨時会出席状況一覧表

○は出席 ×は欠席 △は遅刻、早退 \は出席不要 公は議会として欠席することが妥当と認めた欠席

区分 氏名	第1回定例会					第2回定例会			第3回定例会					第4回定例会			臨時会												
	本会議			予算審査特別委員会		本会議			本会議			決算審査特別委員会		本会議			第1回	第2回	第3回	第4回	第5回								
	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3							
中井光幸	○	○	○	\					○	○	○	○	○	○	\					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
白戸昭司	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	公	○	○		
仲村千鶴子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
渡野辺秀雄	○	○	○	○	○	○	○	○	公	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○			
前田治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	公	公	○	○	○	○	○			
伊藤洋平	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	公	公	○	○	○	○	○			
佐々木亮	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
高村智	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
新関一夫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
花巻徹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
寺澤十郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○			
吉田直樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
玉森大樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
栃木正則	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
工藤秀子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
高田茂	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
小泉征男	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
白石勝士	○	○	○	○	○	○	○	○	公	○	○	\	○	\					○	\	○	○	○	○	○	○	○	○	
山本正宏	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
水上務	○	○	○	○	△	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○			
秋田厚也	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
坂見英幸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○			

## 令和4年1月～令和4年12月 各委員会出席状況一覧表

○は出席 ×は欠席 △は遅刻、早退 \は出席不要 公は議会として欠席することが妥当と認めた欠席

### ◎議会運営委員会

氏名	回	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	秋田厚也	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	公	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
寺澤十郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
渡野辺秀雄	○	○	○	○	○	○	○	○	公	○	×	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○
高村智	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新関一夫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	△	○	○	○	○	○
玉森大樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工藤秀子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
山本正宏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
白戸昭司	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※委員のほか、議長が出席しています。



◎総務常任委員会

氏名	回	1	2	3	4	5
山本正宏		○	○	○	○	○
高田茂		○	○	○	○	○
前田治		○	○	○	○	公
吉田直樹		○	○	○	○	○
栃木正則		○	○	○	○	○
白石勝士		○	○	○	○	○
白戸昭司		○	○	○	○	○

◎文教厚生常任委員会

氏名	回	1	2	3	4
新関一夫		○	○	○	○
工藤秀子		○	○	○	○
仲村千鶴子		×	○	○	○
伊藤洋平		○	○	○	○
佐々木亮		○	○	公	○
高村智		○	○	○	○
花巻徹		○	○	○	○

◎産業建設常任委員会

氏名	回	1	2	3	4	5
玉森大樹		○	○	○	○	○
渡野辺秀雄		○	○	×	○	○
寺澤十郎		公	○	○	○	○
小泉征男		○	○	○	○	○
水上務		△	○	○	○	○
秋田厚也		○	○	○	○	○
坂見英幸		○	○	○	○	○

◎北海道新幹線トンネル工事に伴う掘削発生土に関する調査特別委員会

氏名	回	15	16	17	18	19
白戸昭司		○	○	○	公	○
山本正宏		○	○	○	○	○
渡野辺秀雄		○	○	○	×	○
前田治		○	○	○	○	○
新関一夫		○	○	○	○	○
玉森大樹		○	○	○	○	○
工藤秀子		○	○	○	○	○
小泉征男		○	○	○	○	○
白石勝士		○	○	○	○	○
秋田厚也		○	○	○	○	○

※委員のほか、議長が出席しています。

◎議会ICT化に関する調査特別委員会

氏名	回	2
高村智		○
栃木正則		○
伊藤洋平		○
佐々木亮		○
吉田直樹		○
玉森大樹		○
白石勝士		○

※委員のほか、議長が出席しています。



## 「会議録検索システム」をご利用ください！

北斗市議会では、1人でも多くの市民の皆様に幅広く議会の情報をお知らせするために、会議録検索システムを導入しています。

北斗市議会ホームページの「会議録等」→「会議録検索システムのページ」をクリックすると右の画面に移ります。

検索画面で、気になるキーワードなどを入力すると簡単に会議録を閲覧することができます。

ぜひ、議会で何が議論されているかご覧ください。

※ 会議録検索システムは、パソコンだけでなくスマートフォン・タブレットでもご利用いただけます。



# 議会日誌（令和4年10月11日～令和4年12月31日）

10月 12日	北海道市議会議長会道南支部議員研修会『登別市』（正副議長ほか議員）	15～18日	議員視察研修『香川県高松市ほか』
13日	定期監査（監査委員議員）	21日	全国市議会議長会国会対策委員会『東京都』（議長）
14日	「議会運営委員会」		「議会運営委員会」
17日	渡島廃棄物処理広域連合議会「議会運営委員会」（議長、議会運営委員）		函館湾流域下水道事務組合議会定例会（組合議員）
18日	渡島・檜山管内市町議会議員研修会（議員）		函館圏公立大学広域連合議会定例会（組合議員）
18～19日	例月出納検査（監査委員議員）	21～22日	例月出納検査（監査委員議員）
19～20日	全国市議会議長会研究フォーラムin長野『長野県長野市』（議長）	28日	北斗市議会第5回臨時会本会議
23日	北斗市森林・林業・林産業活性化議員連盟植樹『きじひき高原』		「議会運営委員会」
24日	北斗市議会第4回臨時会本会議	29日	南渡島消防事務組合議会定例会（組合議員）
	「議会運営委員会」	12月 6日	北斗市議会第4回定例会本会議（第1日目）
25日	渡島廃棄物処理広域連合議会「全員協議会」（議長、連合議員）		「議会運営委員会」
	渡島廃棄物処理広域連合議会定例会（議長、連合議員）	7日	定例会本会議（第2日目）
25～28日	議員視察研修『広島県尾道市ほか』		「議会運営委員会」
11月 2日	定期監査（監査委員議員）		「全員協議会」
7日	定期監査（監査委員議員）	8日	「総務常任委員会」
7～10日	議員視察研修『香川県坂出市ほか』	9日	「産業建設常任委員会」
8～11日	議員視察研修『新潟県新発田市ほか』	12日	定例会本会議（第3日目）
9～11日	渡島町村議会議長会行政視察研修『愛知県美浜町ほか』（議長）		「議会運営委員会」
	南渡島消防事務組合議会視察研修『和歌山県岩出市ほか』（組合議員）		「北海道新幹線トンネル工事に伴う掘削発生土に関する調査特別委員会」
14～17日	議員視察研修『愛媛県今治市ほか』	21～22日	例月出納検査（監査委員議員）

## = 本会議を傍聴しませんか！ =

議会傍聴は、市民の代表である議員がどんな活動をしているか、市政がどのように運営されているのかなどを知る良い機会です。

傍聴したい方は、市役所3階の本会議場傍聴席までお越しください。



## 議会開催予定

第1回北斗市議会定例会は、2月の開催を予定しています。

## 編集後記

▼市民の皆さま、新年あけましておめでとうございます。本年もコロナ禍での新年を迎えることとなりました。新型コロナウイルスについては、5回目の接種が始まり、また、乳幼児接種や小児接種なども行われています。一日も早い終息を願うばかりです。

▼令和4年第4回定例会が12月6日から12日までの会期で開催され、7名の議員が一般質問を行いました。また、令和4年度の各会計補正予算が審議され、コロナ対策経費として、感染された方への自宅療養支援セットの配布を3月まで延期することによる予算が計上され可決しました。

▼函館江差自動車道では、冬期間の安全な通行確保を目的とした防雪柵と視線誘導標の設置工事が進んでいます。昨年2月に起きたような多重事故が二度と起こらないよう一日も早い完成を望みます。

▼今期の議員の任期も今年の4月までとなりました。残された期間もしっかりと議員活動をしてまいります。今年も、平和で災害のない穏やかな一年であるよう願っています。

（編集委員 工藤 秀子）

☆市議会だよりをご覧いただきありがとうございます。皆様のご意見感想をお聞かせください。

『☎ 73-3111 F A X 73-6970』『メールアドレス gikai@city.hokuto.hokkaido.jp』

印刷/南すずき印刷